

市民の皆さんはどう考えますか？

～新第1庁舎1億5,000万円中央階段設置追加工事～

はじめに「テスラ」「ドタキャン」「海外出張」に続く新たな問題点

私たちは、市川市議会会派「無所属の会」に所属する6人の市議会議員です。
市議会では目下（本原稿推敲日は2月28日です）、いわゆる「新第1庁舎1億5,000万円中央階段設置追加工事」について審議中です。
市民の方々の多くは、平成29年より「新第1庁舎を建設中であること」はご存知かと思いますが、完成まで1年を切った昨年8月、村越市長が急遽方針を変更して「中央階段設置追加工事を実施すると発表した」こと、また、「その工事には約1億5,000万円を要する」こと、その結果「全面的な供用開始が5ヵ月遅れる」こと、そして、階段のスペースのためはみ出すこととなった「約90人の職員の執務場所に係る家賃が数十年に亘って発生する」ことについては、全くご存じない方や断片的な話しかご存じない方々がほとんどではないかと思われる。
そこで、今号ではこの問題につき、市民の皆さんにお考えいただくための情報提供を試みました。今、市川市と市議会では何が起きているのか、是非ともご一読頂けますようお願いいたします。

共同発行人（市川市議会議員）



約半年前の昨年8月まで「令和2年7月完成、8月供用開始」と説明していました。

市川市議会 令和元年6月定例会（6月17日）

議員の質問

「新第1庁舎新築工事の進捗状況と完成見通しについて伺います。
（中略）完成目標の令和2年、来年7月22日まで、あと1年1ヵ月となりました。（中略）そこで伺います。現状における工事の進捗状況と完成見通しは計画通りと理解してよろしいのか？」

まちづくり部長答弁

「来年7月の完成に向け計画通り進んでおります。工事完成後の仮本庁舎から新第1庁舎への移転につきましては、来年（注：令和2年）7月下旬から8月中旬にかけて順次行う計画としており…」

また、8月6日に開催された新第1庁舎周辺（主に八幡の方々を対象）の住民への説明会においても、明確に「供用開始は令和2年8月」と説明していました。

ところが！ たった約3週間後の8月27日に突如、「1、2階中央部に階段を作る決定をした」との記者発表がありました！

「テスラ」撤回の市川市で新たな公金問題 庁舎階段1億5千万円也

千葉県市川市の村越祐民（のりたみ）市長（45）が米テスラ社の高級電気自動車（EV）を公用車に導入して批判を浴び、解任を求めたが、税金の使途をめぐると新たな問題が浮上った。市庁舎の建て替えをめぐる新たな問題が追加された。供用開始が遅れ費用も1億5,000万円にのぼるだけに、市議からは必要性に疑問を呈する声も出ている。

市は7月にテスラ車を公用車に導入したが、リース額が従来の国産車の2倍を超える月額14万5,000円で、「高すぎ」との批判が寄せられた。差額分市長が返納すると市長給与を8割削減する条例改正案を9月議会に提案予定だった。

千葉県市川市の村越祐民（のりたみ）市長（45）が米テスラ社の高級電気自動車（EV）を公用車に導入して批判を浴び、解任を求めたが、税金の使途をめぐると新たな問題が浮上った。市庁舎の建て替えをめぐる新たな問題が追加された。供用開始が遅れ費用も1億5,000万円にのぼるだけに、市議からは必要性に疑問を呈する声も出ている。

市は7月にテスラ車を公用車に導入したが、リース額が従来の国産車の2倍を超える月額14万5,000円で、「高すぎ」との批判が寄せられた。差額分市長が返納すると市長給与を8割削減する条例改正案を9月議会に提案予定だった。

千葉県市川市の村越祐民（のりたみ）市長（45）が米テスラ社の高級電気自動車（EV）を公用車に導入して批判を浴び、解任を求めたが、税金の使途をめぐると新たな問題が浮上った。市庁舎の建て替えをめぐる新たな問題が追加された。供用開始が遅れ費用も1億5,000万円にのぼるだけに、市議からは必要性に疑問を呈する声も出ている。

▶そして、予算が可決されていないにもかかわらず、「新第1庁舎は令和3年1月供用開始予定」などと、**あたかも決定事項の様に**広報で紹介され、既成事実化が図られました！

正統な手続きを経ない市長の独断専行により市政は大混乱に陥りました。

新しい時代に求められる庁舎へ

見てみよう 新しくできる庁舎の魅力

新第1庁舎は 令和3年1月に供用開始予定

新庁舎で目指す未来の姿

広報いちかわ 2019年12月7日

▶当然、市議会も反発しました！「新第1庁舎を当初の計画どおり、令和2年8月に開庁することを求める決議」を可決しました。

議案第37号 新第1庁舎を当初の計画どおり、令和2年8月に開庁することを求める決議について

上記議案を別紙のとおり市川市議会会議規則第14条第1項の規定により提出いたします。

令和元年12月11日
提出者 市議会議員 増田好秀 市議会議員 細田伸一 市議会議員 金子正

新第1庁舎を当初の計画どおり、令和2年8月に開庁することを求める決議

市民は、令和元年12月7日発行の「広報いちかわ」において、「新第1庁舎は令和3年1月に供用開始予定」の見出しを見た。紙面には当初の供用開始予定が令和2年8月であること、そのおける理由が、約1億5,000万円の費用がかかる階段設置工事のためであることには全く触れず、**市民に正しい情報を提供しなかったこと**に、強く抗議する。

今日まで、新第1庁舎の建設に向け、完成予定を令和2年7月、供用開始を8月として、すべての事業を進めてきた。そして本年6月の議会においても同様の答弁をし、同年8月6日に行われた新第1庁舎周辺の住民の説明会においても、明確に供用開始は令和2年8月と説明をした。

それにもかかわらず、同年8月23日に代表者会議で市長より、令和2年7月完成後に階段設置追加工事を行い、供用開始を5ヵ月延期したいと説明を受けた。

以来、新第1庁舎に階段を設置する必要性、追加工事にかかる費用が約1億5,000万円となること、供用開始が5ヵ月遅れること、90席もの職場面積が失われることなどが議論されてきた。令和元年9月議会においては「新第1庁舎の階段設置追加工事の必要性を慎重に判断することを求める決議」が可決され、まさしく階段の有効性が種々議論されてきた。

今日までの答弁の中で、**階段を設置しなくても、市長が強く実現を望んでいる「ワンストップサービス」は実現できること、市民の交流に大きな問題がないこと、市民の待ち時間が延びるのは40秒程度であること**などが明らかになった。また、階段を設置することにより、新たに**職員90人の席を外部に求める必要があること**などの問題点も明らかになった。

将来、DX等の進歩により、職場スペースが小さくなった時点において、階段ではなく、車椅子を使用される方、高齢者等社会的弱者にも優しいエレベーター等を設置するなど幅広く慎重な議論が必要と考える。新しく完成したばかりの新第1庁舎を、一部とはいえ開庁前に壊し、階段をつくるのが道義的に許されると思えない。

令和元年12月7日発行の「広報いちかわ」において、「新第1庁舎は令和3年1月に供用開始予定」の見出しが掲載されたことにより、「1億5,000万円の階段をつくるより、当初の計画どおり令和2年8月に新庁舎を供用することが優先」との声が大きくなっている。このような状況の中で明確にすべきことは、「市民が当初の計画どおり、令和2年8月に新庁舎を供用できること」である。

そこで、階段設置についてはさらに議論を重ね、まずは当初の予定どおり、新第1庁舎を令和2年8月に開庁することを強く求めるものである。

なお、その実現に向けては、臨時議会の開催も含め、本市議会としても最大限協力する。以上、決議する。

提案理由 新第1庁舎を当初の計画どおり、令和2年8月に開庁することを求めるため本決議を提案するものである。

※赤線は共同発行人による。

▲夕刊フジ 2019年9月7日

※赤線は共同発行人による。

～市議会の存在意義とはなにか？～

市議会は議事機関として、執行機関である市長を監視する機能を担っています。市長が物事を独断で決めて、議会がそれを追認するだけなら、それは議会の責任放棄と考えます。

▶**しかしながら、村越市長には通用しません。「反対している人いない」「8月に開庁する予定だったことを知っている市民はゼロとあっていい」**などと言い切りました。これまでの説明はなんだったのでしょうか？ **本当に反対している市民はいないのでしょうか？**

「反対している人いない」

新庁舎階段設置で市川市長

市川市役所新庁舎の階段設置を巡り、村越市長は15日、定例会記者会見で「根拠のない部分で反対している人はいない」との見解を披露した。

新庁舎は当初、今年8月に開庁予定だったが、村越市長が手続きのワンストップ化を進めるとして、新たに階段設置の追加工事を行う方針を決定。新たな庁舎計画案では追加工事費が約1億5千万円増え、開庁が約5カ月遅れることから、昨年の12月定例会で当初の予定通り開庁するよう求める決議が可決された。

市長は会見で決議に関わらず同計画に変更はないとした上で「機能向上させる一環として階段を付ける。根拠のない部分で反対している人は基本的にはいない」と強調。市民に対して説明した際も「特に反対意見はなく、8月に開庁する予定だったことを知っている市民はゼロとあっていい」と言い切った。

千葉日報 2020年1月16日



▶**とは言え、このままでは市議会において予算が承認されない可能性を感じとったのか、今度は、「8月から段階的に開庁」と、また急遽方針を変更し、議会側に譲歩しました。**

市川市新庁舎「8月から段階的に開庁」

市川市が建設中の新庁舎が可決されている。時期については「階段を造るを巡り、同市の村越市長は26日、開庁時期について「8月に完成した部分から開けることも検討している」と述べた。同日開かれた市民との対話集会「タウンミーティング」で明らかになった。

新庁舎は当初、今年8月に開庁予定だったが、村越市長が手続きのワンストップ化を進めるとして、新たに階段を設置する方針を決定。追加工事費などで事業費が約1億5千万円かかると、開庁が約5カ月遅れることなどから、昨年の12月定例会で当初の予定通り開庁するよう求める決議が可決された。

千葉日報 2020年1月27日 ※赤線は共同発行人による。



新庁舎の新計画について説明する村越市長＝26日、市川市

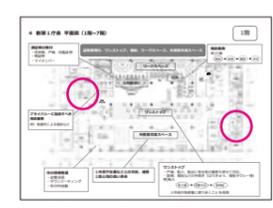
階で、将来市民が使つスペースが機能するのは来年の1月になる」と延期する理由を説明。その上で「議場や管理部門のフロアは出来上がっている。安全性など配慮しながら、8月中に開けられるところは開ける方向で検討したい」と段階的に新庁舎をオープンする方針を示した。

階段設置などにかかる費用については「工事は進めると余剰金が出る。決まった予算の余ったお金の中で工事を」と総費用の予算内で設置する考えを明らかにした。

市民からは「(新計画は)市長の独断と偏見だ」とする批判の声の一方、「考え方が進んでいる。やや説明が足りないのでは、そこを注視して進めたい」という意見も出た。

議会における市の答弁で明らかになったこと

- 追加で階段を設置するためには、新しく完成したばかりの新第1庁舎を、一部とはいえ使わないまま壊して工事をする必要があること
(↑自分のお金、自分の家でもやりますか?)
- 追加で階段を設置しなくても、「ワンストップサービス」は実現できること
(↑当たり前です!)
- 追加で階段を設置しなくても、市民の交流に大きな問題がないこと
(↑当たり前です!)
- 追加で階段を設置しなくても、市民の待ち時間が延びるのは40秒程度であること
(↑これを縮めるために1億5千万かけますか?)
- 追加で階段を設置することにより、新たに職員90人の席を外部に求める必要があること
(↑余計な家賃が数十年に亘って発生)



当初の設計図でも両端2箇所に階段が配置されています。

3 中央に設置する階段の必要性について

1階で行うワンストップサービスを補完

1階でワンストップサービスを行う際、複雑なケースなどを職員が2階から降りてきて対応する他、1階で手続が終わった来庁者を2階に案内するときの移動に活用する。

2 1階の市民等交流スペースと2階の市民活動支援スペース、文化・経済エリアをつなぐ動線

文化、経済、市民活動など様々な交流を促す重要な動線として機能。経済分野や文化・芸術の飛躍的な発展を幅広く支援。

例1：規模は小さいが最先端の技術を持つ企業が販路について経済部と相談。1階で行っている銀行の融資相談と連携してパワーアップ。世界中に販路拡大！
例2：2階で活動するNPOが起業について経済部と相談。1階で活動する弁護士グループが起業にあたっての法律相談を受け無事に起業。市を牽引する企業に！
例3：1階の市民等交流スペースで交流していた若手芸術家たちが2階の文化スポーツ部と相談。多目的スペースを使ってミニ美術展を開催し世界へ発信！

3 将来変化する庁舎機能への対応

今後、1階の市役所機能のスペースが小さくなっていき、様々な市民や来庁者が庁舎を活用する際、機能的な動線になることが期待できる。

4 新時代のオフィスにおける階段の必要性(単なる動線だけではない役割)

最新のオフィスを見学して研究してきた中で、中央に設けられる階段には、単なる移動の動線だけでなく様々な効果があることがわかった。

○ 風通しのよい雰囲気づくり ○ 空間を明るくする効果 ○ フロア同士の交流促進 など

村越市長が主張する「中央に設置する階段の必要性について」の疑問点

- 例1：規模は小さいが最先端の技術を持つ企業が販路について経済部と相談。1階で行っている銀行の融資相談と連携してパワーアップ。世界中に販路拡大！
→「世界中に販路拡大!」は確かに素晴らしい! だが、そのために市役所の中央に階段が必要な企業は本当に存在するのか?
- 例2：2階で活動するNPOが起業について経済部と相談。1階で活動する弁護士グループが起業にあたっての法律相談を受け無事に起業。市を牽引する企業に!
→そもそもNPO(非営利団体)は起業するのか? 仮に起業して企業になるにあたって、市役所の中央に階段が必要なのか?
- 例3：1階の市民等交流スペースで交流していた若手芸術家たちが2階の文化スポーツ部と相談。多目的スペースを使ってミニ美術展を開催し世界へ発信!
→「若手芸術家」が「世界へ発信!」は確かに素晴らしい。だが、そのために市役所の中央に階段が必要なのか?

階段以外にも、「特斯拉」「ドタキャン」「相次ぐ海外出張」…と村越市長の言動はマスコミに“注目”されています…

定例会見急ぎよ中止

市川市長「都合が悪くなった」

市川市長は10日、市役所で定例会見を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を理由に中止した。同日午後、市川市長は記者会見を行い、定例会見の中止について説明した。

▲千葉日報 2019年10月11日

特斯拉市長市庁舎階段で議会紛糾

市長高級公用車「三処理場」騒音問題

村越市長は19日、市役所で記者会見を行い、市長高級公用車の騒音問題について説明した。市長は「騒音問題は三処理場の問題で、市長の責任ではない」と述べた。

▲夕刊フジ 2019年7月19日

むすび「税金の無駄遣いは止めて欲しい」という市民の切なる声は村越市長に届くのか?

当初の設計図にも階段は両端2箇所に配置されています!そして、その距離は約90mに過ぎません。

もちろん、中央階段があれば、市民の待ち時間が約40秒短縮されるとのことですが、そのために1億5,000万円をかけて、開庁を5か月遅らせる価値があるのでしょうか? また、出来上がったばかりの新築の建物を使わずに壊してまた工事をする。その手法は妥当なんでしょうか? (自分の家を新築して使わずに壊して、また工事をしますか? 自分のお金でもやりますか?)

村越市長の説明には、「ワンストップサービス」「市民の利便性」などといった、耳障りの良いフレーズはちりばめられていますが、冷静に考えれば、それらは「1億5,000万円中央階段」と無関係であることは明らかです。

「だったら、もっと他のことに遣って欲しい!」
「税金の無駄遣いを止めさせて欲しい!」

私たち6人の市議会議員は、そんな民意に応えるために2月定例会での白紙撤回を目指します!

市民の皆さんも、今こそ、どの議員が階段設置に賛成・反対したのか、市議会の動向にご注目下さい!

3月12日木に
予算採決予定

ご意見お寄せください!! Eメール: info@mushozoku.net
*Eメールは共同発行人全員宛となります。
越川 雅史 市川市新田4-13-2-103 TEL: 047-377-5777

あなたの声が強くなります!
「市民意見箱」にもご意見をお寄せ下さい →
市川市広報広聴課 電話: 047-712-8633

